

た。この会議では1996/1997年のそれまで最大の北極オゾン減少についてが主な話題となった。

第5回(1999年9月)はフランスのSaint Jean de Luzへと開催の場を移した。この会議ではTHESEOの話題が主であった。参加者は250名程度で日本からも2名が参加した。

そして第6回は2002年9月にスウェーデン、Göteborgで開催された。会議の内容についてはこの号のシンポジウム報告(351~356)を参照されたい。参加者は200名を超え、日本からも6名が参加した。

なお、シンポジウム開催後にはプロシーディングスがECからのAir Pollution Research Reportとして毎回出版されている。

ECの出版物についてはCORDIS (Community Research and Development Information Service)のデータベースに登録されている。

謝 辞

本文の作成にあたり、内容校閲・情報提供して頂いた近藤 豊氏(東京大学先端科学技術センター・教授)と小池 真氏(東京大学大学院理学系研究科・助教授)にこの場を借りて感謝致します。

参考 URL

CORDIS : <http://dbs.cordis.lu>

EORCU : <http://www.ozone-sec.ch.cam.ac.uk>

事務局だより

会費等の納入方法について (気象庁職員の会員の方々へのお願い)

気象学会の会費等の納入については郵便振込みや郵便貯金口座からの引落とし等により行っていただいておりますが、多くの気象庁職員の会員の方々(既に個人納入の手続きをされた方は除きます)からは各官署(部、課)で取りまとめて集金・納入をしていただいております。

しかし、この方法ではまとめていただく方の負担が大きく、改善する必要がありました。そこで、気象庁職員の会員の方々への会費等の納入については、今後次の方法により納入していただくことにしたいと計画しました。

(1) 各官署(部、課)で会費等を取りまとめて集金・納入することは、今後原則として取り止め、各個人により納入していただくこととします。

(2) 納入方法としては、郵便貯金口座からの引落としや郵便局からの振込み、その他の方法から各自選択していただきます。

このため、6~8月に気象庁職員の会員の方々には照会を行って納入方法を決めていただき、本年末の会費請求時からの実施を予定しています。各位のご理解とご協力をお願いします。

なお、気象庁の職員以外の会員の方々においても、現在郵便局からの振込に拠っている方は郵便貯金口座等からの引落としによる方法(引落としによる方法の方が、手数料が掛らず、振込手数料も不要です)への移行をお勧めします。気象庁の職員以外の会員の方々への照会は特に行いませんが、ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

(社) 日本気象学会事務局

tel ; 03-3212-8341ext2546

fax ; 03-3216-4401

e-mail ; metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp